

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 人間の尊厳と自立		授業の種類 通信		授業担当者 目黒祐子	
授業の回数	時間数(単位数) 5時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] ● 人間の尊厳と自立について理解を深める					
[授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。					
[授業終了時の達成課題（到達目標）] ● 尊厳の保持、自立の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解している。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法		
通信	4月1日～ 4月30日	人間の多面的な理解と尊厳	● 人間を理解すること ● 人間の尊厳の意義 ● 人権、そして尊厳をめぐる歴史的経緯 ● 人権、そして尊厳に関する諸規定 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	4月1日～ 4月30日	自立の支援	● 介護における自立 ● 自立への意欲と動機づけ ● 自立した生活を支えるための援助の視点 ● 介護における自立支援の実践 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	4月1日～ 4月30日	人権と尊厳	● 介護における権利擁護と人権尊重 ● 介護における尊厳保持の実践 ● 尊厳を無視した介護の課題 ● ノーマライゼーションの実現 ● プライバシーの保護 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト1巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上		

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 社会の理解Ⅰ		授業の種類 通信		授業担当者 目黒祐子	
授業の回数	時間数(単位数) 5時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] ● 介護保険制度の理解					
[授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。					
[授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法		
通信	4月1日～ 4月30日	介護保険制度創設の背景と目的	● 介護保険制度の創設をめぐる社会的背景 ● 1990年代までの高齢者介護の制度と社会福祉基礎構造改革 ● 介護保険制度の基本理念 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	4月1日～ 4月30日	介護保険制度の基礎的理解	● 介護保険制度の概要 ● 保険者・被保険者 ● 保険給付の対象者 ● 保険給付までの流れ ● 保険給付の種類と内容 ● 地域支援事業 ● 国・都道府県・市町村の役割 ● その他の組織の役割 ● 介護保険の財政 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	4月1日～ 4月30日	介護保険制度における専門職の役割	● 介護職の役割 ● 介護支援専門員の役割 ● その他の専門職の役割 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト1巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上		

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 社会の理解Ⅱ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 30時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 社会と生活のしくみ ● 地域共生社会の実現に向けた制度や施策 ● 社会保障制度 ● 障害者総合支援法 ● 介護実践に関連する諸制度 ● [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。 ● 地域共生社会の考え方と地域包括ケアのしくみについての基本的な知識を習得している。 ● 社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を習得している。 ● 障害者総合支援法の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ● 成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	4月1日～ 4月30日	社会と生活のしくみ	● 家庭生活の基本機能 ● 家族 ● 地域 ● 社会集団と組織 ● ライフスタイルの変化 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	地域共生社会の実現に向けた制度や施策	● 地域共生社会とは ● 地域包括ケアシステムとは
通信	4月1日～ 4月30日	社会保障制度	● 社会保障の役割・意義と歴史 ● 社会保障の目的と機能 ● 社会保障の範囲と対象 ● わが国の社会保障制度のしくみ ● 年金保険 ● 医療保険 ● 後期高齢者医療制度 ● 雇用保険 ● 労働者災害補償保険 ● 公的扶助 ● 社会手当 ● 社会福祉

			● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	障害者総合支援法	● 障害の種類と定義 ● 障害者自立支援法から障害者総合支援法へ ● サービスの種類と内容 ● サービス利用の流れ ● 自立支援給付と利用者負担 ● 障害者総合支援制度における事業者と施設 ● 障害者総合支援制度における組織・団体の機能と役割 ● ライフサイクルから見た支援組織 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	介護実践に関連する諸制度	● サービスの利用にかかわる諸制度 ● 虐待防止の諸制度 ● 人々の権利を擁護するその他の諸制度 ● 保健医療にかかわる諸制度 ● 介護職と医療にかかわる諸制度 ● 生活を支える諸制度 ● 住生活を支援する諸制度 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 一中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト1巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護の基本Ⅰ		授業の種類 通信		授業担当者 目黒祐子	
授業の回数	時間数(単位数) 10時間	配当学年・時期	必修・選択 必修		
[授業の目的・ねらい] ● 介護福祉士の役割と機能 ● 尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開 ● 介護福祉士の倫理					
[授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。					
[授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 介護福祉士の法的な定義や義務を踏まえ、介護予防や看取り、災害時等における介護福祉士の役割を理解している。 ● 個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。 ● 介護福祉士の職業倫理、身体的拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法		
通信	4月1日～ 4月30日	介護福祉士の役割と機能	● 介護福祉士を取り巻く状況 ● 社会福祉士及び介護福祉士法 ● 介護福祉士のキャリアパス ● 介護福祉士の活動の場と役割 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	4月1日～ 4月30日	尊厳の保持、自立にむけた介護の考え方と展開	● 利用者に合わせた生活支援 ● 自立に向けた支援 ● 自立に向けた I C F の考え方 ● 自立に向けたリハビリテーションの考え方 ● 自立に向けた個別ケアの考え方 ● 介護の専門性 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	4月1日～ 4月30日	介護福祉士の倫理	● 介護福祉士としての倫理の必要性 ● 日本介護福祉士会倫理綱領 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
[使用テキスト・参考文献] 一中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト2巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上		

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護の基本Ⅱ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子																				
授業の回数	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修																				
[授業の目的・ねらい] ● 介護を必要とする人の生活の理解と支援 ● 介護実践における連携 ● 介護における安全の確保とリスクマネジメント ● <u>介護従事者の安全</u> [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。 ● チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を<u>習得</u>している。 ● リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を<u>習得</u>している。 ● <u>介護従事者の心身の健康管理</u>や労働安全対策に関する知識を<u>習得</u>している。 [授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] <table> <tr> <th>コマ数</th><th>日程</th><th>学習テーマ</th><th>学習内容・方法</th></tr> <tr> <td>通信</td><td>4月1日～ 4月30日</td><td>介護を必要とする人の生活の理解と支援</td><td> ● 「その人らしさ」の理解 ● 高齢者の暮らしと支援の実際 ● 障害のある人の暮らしと支援の実際 ● 介護を必要とする人の生活環境の理解 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習 </td></tr> <tr> <td>通信</td><td>4月1日～ 4月30日</td><td>介護実践における連携</td><td> ● 多職種連携 ● 地域連携 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習 </td></tr> <tr> <td>通信</td><td>4月1日～ 4月30日</td><td>介護における安全の確保とリスクマネジメント</td><td> ● 事故防止と安全対策 ● 感染対策 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習 </td></tr> <tr> <td>通信</td><td>4月1日～ 4月30日</td><td><u>介護従事者の安全</u></td><td> ● 健康管理の意義と目的 ● 健康管理に必要な知識と技術 ● 安心して働ける環境づくり ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習 </td></tr> </table>				コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法	通信	4月1日～ 4月30日	介護を必要とする人の生活の理解と支援	● 「その人らしさ」の理解 ● 高齢者の暮らしと支援の実際 ● 障害のある人の暮らしと支援の実際 ● 介護を必要とする人の生活環境の理解 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習	通信	4月1日～ 4月30日	介護実践における連携	● 多職種連携 ● 地域連携 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習	通信	4月1日～ 4月30日	介護における安全の確保とリスクマネジメント	● 事故防止と安全対策 ● 感染対策 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習	通信	4月1日～ 4月30日	<u>介護従事者の安全</u>	● 健康管理の意義と目的 ● 健康管理に必要な知識と技術 ● 安心して働ける環境づくり ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法																				
通信	4月1日～ 4月30日	介護を必要とする人の生活の理解と支援	● 「その人らしさ」の理解 ● 高齢者の暮らしと支援の実際 ● 障害のある人の暮らしと支援の実際 ● 介護を必要とする人の生活環境の理解 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習																				
通信	4月1日～ 4月30日	介護実践における連携	● 多職種連携 ● 地域連携 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習																				
通信	4月1日～ 4月30日	介護における安全の確保とリスクマネジメント	● 事故防止と安全対策 ● 感染対策 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習																				
通信	4月1日～ 4月30日	<u>介護従事者の安全</u>	● 健康管理の意義と目的 ● 健康管理に必要な知識と技術 ● 安心して働ける環境づくり ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習																				
[使用テキスト・参考文献] 一中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト2巻		[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上																					

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） コミュニケーション技術		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ● 介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 本人、家族との支援関係を構築し、意志決定を支援することができる。 ● 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。 ● チームマネジメント（組織の運営管理、人材管理、リーダーシップ・フォロワーシップ等）に関する知識を理解し、活用できる。 ● 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	4月1日～ 4月30日	介護におけるコミュニケーション	● コミュニケーションの意義、目的、役割 ● コミュニケーションの技法 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	介護におけるコミュニケーション技術	● 話を聴く技法 ● 利用者の感情表現を察する技法 ● 利用者の納得と同意を得る技法 ● 質問の技法 ● 相談・助言・指導の技法 ● 利用者の意欲を引き出す技法 ● 利用者と家族の意向を調整する技法 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	● コミュニケーション障害の理解 ● 視力の障害に応じたコミュニケーション技術 ● 聴力の障害に応じたコミュニケーション技術 ● 高次脳機能障害に応じたコミュニケーション技術 ● 失語症に応じたコミュニケーション技術 ● 構音障害に応じたコミュニケーション技術 ● 認知症に応じたコミュニケーション技術 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション	● チームマネジメントの理解と活用 ● チームのコミュニケーションとは ● 記録による情報の共有化 ● 報告・連絡・相談による情報の共有化

			● 会議による情報の共有化 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 一中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト2巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 生活支援技術Ⅰ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 生活支援とICF ● ボディメカニクスの活用 ● 生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等） ● 環境整備、福祉用具活用等の視点 [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解している。 ● ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。 ● 自立に向けた生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を習得している。 ● 居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の生活環境を整備する視点・留意点を理解している。 [授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	4月1日～ 4月30日	生活支援と I C F	● 生活支援とアセスメント ● I C F の視点とアセスメント ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	居住環境の整備と 福祉用具の活用	● 居住環境の意義 ● 生活空間と介護 ● 福祉用具の活用 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	移動・移乗の生活 支援技術の基本	● 移動・移乗の介助を行うにあたって ● 体位変換の介助 ● 車いすの介助 ● 歩行の介助 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	食事の生活支援技 術の基本	● 食事の介助を行うにあたって ● 食事の介助 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	入浴・清潔保持の 生活支援技術の基 本	● 入浴の介助を行うにあたって ● 入浴の介助 ● 部分浴の介助 ● 清潔保持の介助 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用

			いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	排泄の生活支援技術の基本	● 排泄の介助を行うにあたって ● 排泄の介助
通信	4月1日～ 4月30日	着脱、整容、口腔清潔の生活支援技術の基本	● 身じたくの介助を行うにあたって ● 衣類着脱の介助 ● 整容の介助 ● 口腔清潔の介助 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	4月1日～ 4月30日	家事援助の基本	● 生活と家事の理解 ● 調理 ● 洗濯 ● 掃除・ごみ捨て ● 衣類の補修・裁縫 ● 衣類・寝具の衛生管理 ● 買い物 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト2巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 生活支援技術Ⅱ		授業の種類 通信		授業担当者 目黒祐子	
授業の回数	時間数(単位数) 30時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい]					
● 利用者の心身の状態に合わせた生活支援技術 ● 環境整備、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具等の活用					
[授業全体の内容の概要]					
● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。					
[授業修了時の達成課題（到達目標）]					
● 「環境整備」「移動・移乗」「食事」「入浴・清潔保持」「排泄」「着脱、整容、口腔清潔」「休息・睡眠」「人生の最終段階における介護」「福祉用具等の活用」のそれぞれについて、利用者の心身の状態に合わせた、自立に向けた生活支援技術を理解し、行うことができる。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法		
通信	5月1日～ 5月31日	環境整備と福祉用具等の活用	● 利用者に適した生活環境の整備 ● 利用者に適した福祉用具の選定 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	5月1日～ 5月31日	移動・移乗の生活支援技術	● 体位変換の介助 ● 車いすの介助 ● 安楽な体位の保持と褥瘡の予防 ● 歩行の介助 ● 移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	5月1日～ 5月31日	食事の生活支援技術	● 食事の介助 ● 食事に関する福祉用具とその活用方法 ● 誤嚥・窒息の予防 ● 脱水の予防 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	5月1日～ 5月31日	入浴・清潔保持の生活支援技術	● 入浴の介助 ● 入浴に関する福祉用具とその活用方法 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	5月1日～ 5月31日	排泄の生活支援技術	● 排泄の介助 ● 排泄に関する福祉用具とその活用方法 ● 頻尿、尿失禁、便秘、下痢、便失禁への対応 ● その他の排泄に関するさまざまな介助 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	5月1日～	着脱、整容、口腔	● 衣服着脱の介助		

	5月31日	清潔の生活支援技術	● 整容の介助 ● 口腔清潔の介助 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	休息・睡眠の生活支援技術	● 休息・睡眠の介助を行うにあたって ● 睡眠の介助 ● 睡眠に関する用具とその活用方法 ● 睡眠と薬 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	人生の最終段階における介護の生活支援技術	● 人生の最終段階における介護を行うにあたって ● 人生の最終段階の介護 ● 介護職、家族への支援 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト2巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護過程Ⅰ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 介護過程の基礎知識 ● 介護過程の展開 ● 介護過程とチームアプローチ [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 介護過程の目的、意義、展開等を理解している。 ● 介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。 ● チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、他の職種の役割を理解している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	5月1日～ 5月31日	介護過程の意義と目的	● 介護の概念の見直し ● 根拠に基づいた介護の実践 ● 介護過程の必要性 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	介護過程の展開	● 介護過程の展開イメージ ● アセスメント ● 計画の立案 ● 実施 ● 評価 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	介護過程とチームアプローチ	● 介護過程とケアマネジメントの関係性 ● 介護過程とチームアプローチ ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト3巻		[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護過程Ⅱ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 25時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 介護過程の展開の実際 ● 利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）について事例を設定し介護過程を展開させる。 ● 観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携等についても考察させる。 [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行う事ができる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	5月1日～ 5月31日	介護職による介護過程の進め方	● 日々の実践のなかにある介護過程 ● 思考過程の訓練 ● ケアマネジメントをふまえた介護過程の展開 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	介護過程の実践的展開	● 事例で学ぶ介護過程の展開 ● 取り上げる事例と構成 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	施設で暮らす高齢者の介護過程	● 利用者のプロフィール ● 家族構成および生活歴 ● 現在の状況 ● Aさんのフェイスシート ● Aさんのアセスメント表（1） ● Aさんのアセスメント表（2） ● Aさんの介護計画書 ● Aさんの実施評価表 ● 【解説】Aさんの介護過程について ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	在宅で暮らす高齢者の介護過程	● 利用者のプロフィール ● 家族構成および生活歴 ● 現在の状況 ● Oさんのフェイスシート ● Oさんのアセスメント表（1） ● Oさんのアセスメント表（2） ● Oさんの介護計画書 ● Oさんの実施評価表

			● 【解説】Oさんの介護過程について ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト3巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護過程Ⅲ		授業の種類 面接	授業担当者 目黒祐子 鈴木百合 山口知加
授業の回数 30回	時間数(単位数) 45時間	配当学年・時期	必修・選択 必修

[授業の目的・ねらい]

- 介護過程の展開の実際：多様な事例を展開し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する。
- 介護技術の評価：介護技術の原理原則の習得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用した判断力・応用力を評価する。

[授業全体の内容の概要]

- 面接授業にて、講義・演習（個人・グループワーク等）を行い、介護過程の展開及び介護技術の指導と評価を行う。

[授業修了時の達成課題（到達目標）]

- 実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に習得し、活用できる。
- 知識技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。
- 介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。
- 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況に応じた介護を行うことができる。

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
1	6/19	介護の基本Ⅰの復習	● 介護福祉士の役割と機能 ● 尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方 ● 介護福祉士の倫理 ● 学習方法：講義
2	6/19	介護の基本Ⅱの復習	● 介護を必要とする人の生活の理解と支援 ● 介護実践における連携 ● 介護における安全の確保とリスクマネジメント ● 介護従事者の安全 ● 学習方法：講義
3	6/19	コミュニケーション技術の復習	● 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ● 介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション ● 学習方法：講義、グループ演習
4～8	6/19 7/3	生活支援技術Ⅰの復習	● 生活支援とICF ● ボディメカニクスの活用 ● 環境整備、福祉用具活用等の視点 ● 生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等） ● 学習方法：講義、グループ演習
9～10	7/3	介護過程Ⅰの復習	● 介護過程の基礎的知識

			● 介護過程の展開 ● 介護過程とチームアプローチ ● 学習方法：講義
11～12	7/3	介護過程の展開の 実際（介護過程Ⅱ の復習）	● 利用者の状態（利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）について事例を設定し、介護過程を展開させる。 ● 観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携等についても考察させる。 ● 学習方法：事例学習
13～20	7/31 8/21	介護過程展開演習 （介護過程Ⅲ）	● 多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する。 ● 学習方法：講義、個人演習（アセスメント表作成、介護計画書作成）、グループ演習（アセスメント表検討、介護計画書検討、発表）
21～25	8/28	介護技術実技演習 （介護過程Ⅲ）	● 利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用環境整備 ● 介護技術の評価 ● 学習方法：講義、グループ演習、評価
26～30	9/11	実技評価試験	● 課題を指定し、時間内（1人15分）に実技試験を実施する。 ● 介護技術評価表により評価する。 ● 講評、総まとめ
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト3巻			[単位認定の方法及び基準] 介護計画書作成（25点）、実技試験（50点）、受講態度・課題提出状況（25点）を評価し70点以上で単位認定する。但し、実技試験が29点以下の場合は再試験を行う。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） こころとからだのしくみⅠ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔等） [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を習得している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	5月1日～ 5月31日	移動・移乗に関連するからだのしくみ	● 基本的な姿勢 ● 基本的なからだのしくみ ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	食事に関連するからだのしくみ	● 基本的なからだのしくみ ● 栄養素とエネルギー ● 代償的な栄養摂取法 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ	● 基本的なからだのしくみ ● 入浴と清潔保持の意味 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	排泄に関連するからだのしくみ	● 基本的なからだのしくみ ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ	● 基本的なからだのしくみ ● 着脱、整容、口腔清潔の意味 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	休息・睡眠に関連するからだのしくみ	● 基本的なからだのしくみ ● こころのしくみ ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト4巻		[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） こころとからだのしくみⅡ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 60時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 人間の心理 ● 人体の構造と機能 ● 身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護における観察・アセスメントのポイント、連携等の留意点 ● 移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息・睡眠、人生の最終段階のケア [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を習得している。 ● 生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を習得している。 ● 身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、観察・アセスメント、関連する職種との連携が行える。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	5月1日～ 5月31日	人間の心理	● 人間の欲求の基本的理解 ● こころのしくみの基礎 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	人体の構造と機能	● 生命の維持・恒常のしくみ ● 人間のからだのしくみ ● ボディメカニクスの活用 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	移動・移乗における観察のポイント	● 移動・移乗を阻害する要因の理解 ● 変化に気づくための観察のポイント ● 医療職との連携のポイント ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	食事における観察のポイント	● 食事を阻害する要因の理解 ● 変化に気づくための観察のポイント ● 医療職との連携のポイント ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	入浴・清潔保持における観察のポイント	● 入浴を阻害する要因の理解 ● 変化に気づくための観察のポイント ● 医療職との連携のポイント ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習

通信	5月1日～ 5月31日	排泄における観察 のポイント	● 排泄を阻害する要因の理解 ● 変化に気づくための観察のポイント ● 医療職との連携のポイント ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	着脱、整容、口腔 清潔における観察 のポイント	● 身じたくを阻害する要因の理解 ● 変化に気づくための観察のポイント ● 医療職との連携のポイント ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	休息・睡眠におけ る観察のポイント	● 休息・睡眠を阻害する要因の理解 ● 変化に気づくための観察のポイント ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	人生の最終段階の ケアにおける観察 のポイント	● 人生の最終段階の理解 ● こころのしくみ ● 終末期のから危篤状態の変化の特徴 ● 死後の対応 ● 医療職との連携のポイント ● 家族へのケア ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト4巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 発達と老化の理解Ⅰ		授業の種類 通信		授業担当者 目黒祐子	
授業の回数	時間数(単位数) 10時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] ● 老化に伴う心の変化と日常生活への影響 ● 老化に伴うからだの変化と日常生活への影響					
[授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。					
[授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。 ● 老化に伴う身体機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法		
通信	5月1日～ 5月31日	こころの変化と日常生活への影響	● 老化が及ぼす心理的影響 ● 自己概念と生きがい ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	5月1日～ 5月31日	からだの変化と日常生活への影響	● 加齢に伴う身体機能の変化と日常生活への影響 ● さまざまな機能の変化 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト4巻			[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上		

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 発達と老化の理解Ⅱ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 人間の成長・発達 ● 老年期の発達・成熟と心理 ● 高齢者に多い症状・疾病等と留意点 [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● ライフサイクル各期の発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ● 老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解している。 ● 高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	5月1日～ 5月31日	人間の成長・発達	● 発達の定義 ● 発達段階と発達課題 ● 各ライフサイクルの発達 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	老年期の発達・成熟と心理	● 老年期の定義 ● 老年期の心理的課題と適応 ● 要介護状態と高齢者の心理 ● 不適応状態を緩和する心理 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	5月1日～ 5月31日	高齢者に多くみられる症状・疾病等	● 高齢者に多くみられる症状・訴えとその留意点 ● 介護を要する高齢者によくみられる病気・病態 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト4巻		[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 認知症の理解 I		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 10時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 認知症ケアの理念 ● 認知症による生活障害、心理・行動の特徴 ● 認知症の人や家族へのかかわり・支援の基本 [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。 ● 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ● 認知症の人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	6月1日～ 6月30日	認知症ケアの理念 と視点	● 認知症ケアを取り巻く状況 ● 認知症ケアの理念 ● 認知症ケアの視点 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	6月1日～ 6月30日	認知症による生活 障害、心理・行動 の特徴	● 「人」と「生活」の理解 ● 認知症ケアはなぜ「人」と「生活」に焦点をあてる必要があるのか ● 認知症の中核症状 ● 認知症の行動・心理症状（BPSD） ● 意識障害の理解 ● 生活障害の理解 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	6月1日～ 6月30日	認知症の人とのか かわり・支援の基 本	● 認知症の人にかかわる際の前提 ● 実際のかかわり方の基本 ● 家族への支援 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト4巻		[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 認知症の理解Ⅱ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 医学的側面から見た認知症の理解 ● 認知症の人への支援の実際 [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ● 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、本人主体の理念に基づいた支援ができる。 ● 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	6月1日～ 6月30日	医学的側面からみた認知症の理解	● 認知症とは ● 認知症の診断 ● 認知症の原因疾患とその病態 ● 認知症の治療と予防 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	6月1日～ 6月30日	認知症の人への支援の実際	● 認知症のアセスメント ● 中核症状へのかかわり方の実際 ● BPSD（行動・心理症状）へのかかわり方の実際 ● 環境の整備 ● 認知症ケアにおけるチームアプローチ ● 認知症の人へのさまざまなアプローチ ● 地域生活の支援 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト4巻		[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 障害の理解Ⅰ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 10時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 障害者福祉の理念 ● 障害による生活障害、心理・行動の特徴 ● 障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本 [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。 ● 障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ● 障害のある人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解している。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	6月1日～ 6月30日	障害者福祉の理念	● 「障害」のとらえ方 ● 国際障害分類と国際生活機能分類 ● 障害者福祉の基本理念 ● 障害の法的定義 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	6月1日～ 6月30日	障害による生活障害、心理・行動の特徴	● 身体障害による生活上の障害と心理・行動の特徴 ● 知的障害による生活上の障害と心理・行動の特徴 ● 精神障害による生活上の障害と心理・行動の特徴 ● 高次脳機能障害による生活上の障害と心理・行動の特徴 ● 発達障害による生活上の障害と心理・行動の特徴 ● 難病による心理・行動の特徴 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	6月1日～ 6月30日	障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本	● 障害のある人へのかかわり・支援の基本 ● 家族の理解と障害の受容支援 ● 介護負担の軽減 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト4巻		[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 障害の理解Ⅱ		授業の種類 通信	授業担当者 目黒祐子
授業の回数	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ● 医学的側面から見た障害の理解 ● 障害の特性に応じた支援の実際 [授業全体の内容の概要] ● テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 [授業修了時の達成課題（到達目標）] ● 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得している。 ● 障害の特性、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ● 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法
通信	6月1日～ 6月30日	医学的側面からみた障害の理解	● 視覚障害 ● 聴覚・言語障害 ● 運動機能障害 ● 心臓機能障害 ● 腎臓機能障害 ● 呼吸機能障害 ● 膀胱・直腸機能障害 ● ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害 ● 肝臓機能障害 ● 知的障害 ● 精神障害 ● 高次脳機能障害 ● 発達障害 ● 難病 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	6月1日～ 6月30日	障害の特性に応じた支援の実際	● アセスメントの視点と個別支援 ● 障害のある人がふつうに暮らせる地域づくり ● 地域におけるサポート体制 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト4巻		[単位認定の方法及び基準] 提出学習課題正答率7割以上	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 医療的ケア		授業の種類 通信、面接		授業担当者 鈴木正子 荒生佳奈子 鈴木里紗	
授業の回数	時間数(単位数) 通信50時間、面接15時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい]					
・ 医療的ケア実践の基礎 ・ 喀痰吸引（基礎的知識・実施手順） ・ 経管栄養（基礎的知識・実施手順） ・ 演習					
[授業全体の内容の概要]					
● 通信授業においては、テキスト、質問票を用いて個別学習を行い、学習課題提出、採点・添削・講評により、知識の修得度の確認を行う。 ● 面接授業前に知識の修得度の確認を行うために筆記試験を実施する。 ● 面接授業においては、厚生労働省通知「喀痰吸引等研修実施要綱」に従い、適切な手順実施が行えるようシミュレーター演習指導及び技術確認と評価を行う。 ● 面接授業においては、可能な限り医療的ケアの提供を見学する機会を設ける。					
[授業修了時の達成課題（到達目標）]					
● 医療的ケアを安全に実施するための基礎的知識について理解している。 ● 医療的ケアに関連する法制度や倫理等を理解している。 ● 感染予防、安全管理体制等についての基礎的知識について理解している。 ● 呼吸のしくみとはたらき、吸引を受ける人の気持ちの理解など、喀痰吸引の基本的知識を理解している。 ● 喀痰吸引における急変・事故発生時の対応などについて理解している。 ● 喀痰吸引の実施手順（口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部）を理解している。 ● 消化器系のしくみとはたらき、経管栄養を受ける人の気持ちの理解など、経管栄養の基本的知識を理解している。 ● 経管栄養における急変・事故発生時の対応などについて理解している。 ● 経管栄養の実施手順（胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養）を理解している。 ● 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得している。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法		
通信	7月1日～ 7月31日	医療的ケア	● 喀痰吸引等制度（社会福祉士及び介護福祉士法の改正） ● 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 ● 医行為について ● その他の制度 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	7月1日～ 7月31日	安全な療養生活	● 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 ● 救急蘇生 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習		
通信	7月1日～ 7月31日	清潔保持と感染予防	● 感染予防 ● 介護従事者の感染予防		

			● 療養環境の清潔、消毒法 ● 消毒と滅菌 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	7月1日～ 7月31日	健康状態の把握	● 身体・精神の健康 ● 健康状態を知る項目（バイタルサインなど） ● 急変状態について ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	7月1日～ 7月31日	高齢者および障害のある人の喀痰吸引概論	● 高齢者および障害のある人の喀痰吸引概論 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	7月1日～ 7月31日	高齢者および障害のある人の喀痰吸引実施手順解説	● 高齢者および障害のある人の喀痰吸引実施手順解説 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	7月1日～ 7月31日	高齢者および障害のある人の経管栄養概論	● 高齢者および障害のある人の経管栄養概論 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
通信	7月1日～ 7月31日	高齢者および障害のある人の経管栄養実施手順解説	● 高齢者および障害のある人の経管栄養実施手順解説 ● 学習方法：テキスト、学習課題、質問票を用いての自宅学習
1～4	9月25日 10月23日 11月20日	喀痰吸引ケア実施演習	● 口腔内および鼻腔内（各5回以上） ● 気管カニューレ内部（5回以上） ● 学習方法：講師が視覚教材、実演等により手順を示し、グループ演習を行わせ観察・評価・指導を行う。
5	9月25日 10月23日 11月20日	救急蘇生法の実施演習	● 救急蘇生法（1回以上） ● AED使用の手順（1回以上） ● 学習方法：講師が視覚教材、実演等により手順を示し、グループ演習を行わせ観察・評価・指導を行う。
6～10	10月8日 11月5日 12月3日	経管栄養ケア実施演習	● 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養（5回以上） ● 経鼻経管栄養（5回以上） ● 学習方法：講師が視覚教材、実演等により手順を示し、グループ演習を行わせ観察・評価・指導を行う。
[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版株式会社発行 介護福祉士実務者研修テキスト5巻			[単位認定の方法及び基準] 【通信授業】 提出学習課題正答率7割以上 【筆記試験】 出題30問中正解率9割以上 【面接授業】 必要回数の演習を行い、評価表の手順どおりの実施で単位認定する。